

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 気候災害時代にふさわしい労働環境・公共施設整備を！</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>温暖化の影響により、夏季の気温は年々上昇傾向にあり、もはや「猛暑」という言葉では足りないほどの厳しい環境となっている。令和7年6月、労働安全衛生規則が改正され、熱中症対策が罰則付きで義務化されるに至った。これは、熱中症への対策が命と健康を守るために当然の責任と位置づけられた証である。この社会的ニーズに対し、行政が管理・運営する施設における熱中症対策は、極めて重大なテーマである。本市では、令和7年3月定例会において、小中学校体育館へのエアコン設置の (次ページへ続く)</p>	<p>(1) 労働安全衛生規則の改正を踏まえた基本的認識と方針の確認</p> <p>(2) 瀬戸市体育館及びスポーツ施設の暑熱対策</p>	<p>①令和7年6月施行の労働安全衛生規則改正により、熱中症対策が罰則付きで義務化されたが、本市の管理施設における対応方針はどのように見直され、対応されたか伺う。</p> <p>②前項の規則改正に伴い、WBGT(暑さ指数)28℃または気温31℃を超える環境での「連続1時間以上」または、「1日4時間以上」作業する場合が対策強化の対象とされたが、該当する本市の把握状況を伺う。</p> <p>③安全配慮義務として、熱中症が予見可能な環境で必要な対策を怠った場合の損害賠償リスクをどのように認識し、どのような責任を負うと想定しているか伺う。</p> <p>④労働環境の改善として、職員や職場の暑熱対策に係る補助や整備について検討されているか伺う。</p> <p>①令和6年9月定例会において全会一致で採択した「瀬戸市体育館へのエアコン設置を求める請願」に対する本市の回答を市長に改めて伺う。</p> <p>②昨年と比べ、瀬戸市体育館及び市内スポーツ施設における暑熱対策の対応状況と効果検証結果を伺う。</p> <p>③昨年度から今年度にかけて、熱中症による危険性回避のために、活動や施設利用を中止または、実際に熱中症が発生した事例があるか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>予算（屋内運動場空調設備設置工事）が可決され、子どもたちの命を守るために踏み出したことは、大きな一歩である。しかし、瀬戸市体育館をはじめとする運動施設、閉校となった学校の体育館、学校給食の調理現場などのエアコンは未設置であり、高温下での業務や活動を余儀なくされる場が残されており、職員や利用者が健康被害に晒されるリスクは無視できない。</p> <p>熱中症による健康被害は直接的な命の危険にとどまらず、暑さのために運動や地域活動が制限され、健康を維持する機会が奪われることも重大な健康リスクとなる。さらに、労働環境が過酷であれば、</p> <p>(次ページへ続く)</p>	<p>(3) 避難所が“暑さの危険地帯”にならないための対策</p>	<p>④近年の猛暑日数の増加は瀬戸市体育館利用者数の変化に影響があるか伺う。</p> <p>⑤猛暑により熱中症リスクが高まる一方、熱中症を危険視した運動・外出の制限により健康を維持する機会が奪われることも懸念される。これら相反するリスクに対し、どのような対策を講じているか伺う。</p> <p>⑥瀬戸市体育館及び市内スポーツ施設において、労働安全衛生規則改正で求められた熱中症への安全配慮をどのように整えているか伺う。</p> <p>⑦尾張旭市は防災拠点として尾張旭市総合体育館へエアコン設置を実現した。本市も市民の健康維持だけでなく、瀬戸市体育館を防災拠点として位置づけたエアコン整備を検討するか伺う。</p> <p>⑧全面的な空調整備が難しい場合、運動スペースの周辺にクーリングシェルター（冷房を備えた、もしくは涼しい休憩所）の整備を、先行すべきと考えるが検討されるか伺う。</p> <p>①閉校となった学校の体育館は、猛暑下の指定避難所として空調の整っていない状況をどのように考えているか見解を伺う。</p> <p>②猛暑期の避難生活を想定した訓練やシミュレーションは実施し、各地域に提案しているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>職員の確保や定着にも悪影響を及ぼし、行政サービス全体の質の低下へとつながる懸念もある。</p> <p>熱中症対策は、あらゆる労働環境・公共施設に波及する“時代の要請”である。この要請に本市はどう応えるのか。昨年からの成果を土台に、新たな課題と対応を伺う。</p>	<p>(4) 学校給食の調理現場という“隠れた危険地帯”への対策</p>	<p>③災害発生時、閉校となった体育館の避難所では暑熱環境で職員やボランティアが対応に当たることになるが、規則改正で求められた熱中症への安全配慮を考慮し、どのように整えていくか伺う。</p> <p>①学校給食の調理現場において、夏季室温やWBGTの実測値を把握しているか伺う。</p> <p>②現在の空調設備整備率はどの程度で、今後の改善計画があるか伺う。</p> <p>③現行施設は、予算不足や給食センターの建て替え、単独校の縮小を視野にエアコン設置をしないとのことであった。しかし、健康・命の危険が懸念される中、そのような理由で調理員へ負担を強いる現在の状況は、労働環境を整えた上で委託する責任がある行政としてどのように考えているのか見解を伺う。</p> <p>④過去、調理員の熱中症発症や健康被害は何件あったか伺う。</p> <p>⑤調理員の離職・欠員の原因に暑熱環境が影響しているというヒアリング結果はあるか伺う。</p> <p>⑥規則改正により、この環境が「罰則付き熱中症対策義務」の対象となる可能性があるかと認識しているか伺う。</p> <p>⑦厳しい環境下での業務継続は調理員の健康リスクだけでなく、離職や人材確保難にもつながり得るが、本市としての危機感と改善策はあるか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(5) 財源確保と持続可能性について</p> <p>(6) 今後の熱中症への対策</p>	<p>①空調が整備されていない公共施設において、初期費用・維持費・更新費用までを見据えた5年・10年単位の長期の財源試算、または、計画を作成しているか伺う。</p> <p>②用途を指定したガバメントクラウドファンディング、ふるさと納税、施設使用料の一部見直しなど、税以外の財源確保策の検討状況を伺う。</p> <p>③民間協賛の可能性について、地元企業のCSR(企業の社会的責任:Corporate Social Responsibility)やSDGsの活動として、空調設備維持への協賛・寄附を募る取り組みを検討しているか伺う。</p> <p>④施設ごとの補助金・起債の洗い出しについて、国や県の補助金、交付金、起債メニューなど、施設の構造や用途に応じた財源の調査・洗い出しはどこまで進んでいるか伺う。</p> <p>⑤熱中症対策を行った場合の支援を国へ要望する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>①市長はこれからも続くと予測される猛暑において、どう市民を守り、どのような労働環境・公共施設の整備をすることが望ましいと考えるか見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。